

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：国際課
 担当名：国際戦略担当
 内線：2713

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B14	誰でも国際交流埼玉版SDGs推進事業		一般会計	総務費	県民費	国際交流費	国際交流事業費	
事業期間	令和 3年度～	根拠法令				宣言項目		SDGsゴール
						分野施策	061455 多文化共生と国際交流の推進	SDGsターゲット
1 事業概要 スポーツやオンラインの活用により、国際交流へのハードルを低くし、希望する人に幅広く交流の機会を提供する。 多様な文化や価値観に直接触れることで、多文化理解やグローバルな思考力を身に付けさせ、2030年以降の社会を支える子ども・若者を育成する。 (1) 国際スポーツSDGs推進事業 △2,700千円 新型コロナウイルス感染症に伴う事業中止に係る事務費の減額			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 国際スポーツSDGs推進事業 0千円 (当初 2,700千円) イ 姉妹友好州省との学校間交流等を通じたSDGs人材育成事業 870千円 (当初 870千円) (2) 事業計画 ア 国際スポーツSDGs推進事業 ・ 県内プロスポーツチームが実施する国際親善試合等に合わせ、スポーツ選手と県内の若者・子供たちが交流する機会(学校、病院、福祉施設等の訪問)を提供する。 イ 姉妹友好州省との学校間交流等を通じたSDGs人材育成事業 ・ 姉妹友好州省と県の学生・高校生間のオンラインでの交流及を通じてSDGsの普及を図り、若者ならではのSDGsの視点による地域課題解決を試みる。 ・ 姉妹友好州省と県内学校のリアル・オンライン交流を実施し、地域課題の発見・解決策の提示や、海外との交流を通じた語学習得や多文化理解などができるSDGsの理念を理解した人材を育成する。 ・ 在独日本大使館及びドイツブランデンブルグ州政府と連携し、日独交流160周年事業の記念式典において、SDGs先進地であるドイツで埼玉版SDGsの取組を県及びPF参加企業がPR(展示講演)する。 (3) 事業効果 ・ 国際交流への障害を取り除き、子ども・若者が広く国際交流に参加できるようになる。 ・ 埼玉から世界に通じるSDGs人材を育成する。 (4) 補正予算の概要 ・ 12月に予定していた国際親善試合が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため。					
2 事業主体及び負担区分 事業主体： (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,700						△2,700	870
現計額	3,570						3,570	